

第1号様式（第7条関係）

## 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 市 長		平成 27 年 7 月 13 日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市伏見区南浜町2 4 7 番地		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 月桂冠株式会社 代表取締役社長 大倉 治彦
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004	
適用範囲	月桂冠株式会社 経営本部・営業本部(営業推進部・貿易部・物流部)・製造本部	
導入年月日	2008年 10月 16日	
認証番号	JMAQA-E757	
基本方針	月桂冠株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の実現に貢献すべく、あらゆる事業活動において、環境保全への取り組みを継続的に推進していきます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の使用量の削減</li> <li>・CO2排出量の削減</li> <li>・環境法令の順守体質の強化</li> <li>・地域清掃活動の推進</li> <li>・環境配慮型商品の開発</li> <li>・コピー用紙使用量の削減</li> </ul>	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業方法の見直しにより、水、電気、ガスの使用量を削減する。</li> <li>・部や課で自署に係る環境法令の勉強会などを開催して法順守の体質を強化する。</li> <li>・事業所周りの清掃活動をより推進する。</li> <li>・容器包装の軽量化などの環境配慮型商品の改良等を進める。</li> <li>・裏紙使用、電子化などにより、コピー用紙の使用量を削減する。</li> </ul>	
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水使用量は製品関係は2015年度は2014年度比105%となっているが、詰口容量が2014年度比118%であるため良好。醸造関係は2014年度比135%となっているが、現段階では原因究明中。</li> <li>・CO2排出量は対象年度比約95%と良好。</li> <li>・環境法令勉強会、環境配慮型商品の開発は5月末まででまだ無し。</li> <li>・地域清掃活動、コピー用紙使用量削減は順調。</li> </ul>	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水処理施設を昨年9月に導入したため、電気使用量が70%程度に削減された。</li> <li>・昨年度9月に製品詰のラインを新設したため、作業効率がアップし、水使用量の削減、CO2排出量の削減に貢献した。</li> </ul>	
事業活動に係る法令の遵守の状況	法令順守については現時点では問題なし。関係法令はすべて順守されている。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価、見直しについては年度末に1回検討を行っている。現時点では全体的には良好に推移していると考えられ、特別な見直しはない。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。